

稲畑汀子(ホトトギス主宰)

昭和6年横浜生まれ。祖父高浜虚子、父高浜年尾に教わる。昭和54年、「ホトトギス」主宰を継承。昭和57年、日本伝統俳句協会を設立し会長に就任。

句集に「汀子句集」「障子明り」「さゆらぎ」など。著書に「俳句入門」「俳句十二ヶ月」など。



高野 ムツオ(小熊座主宰)

昭和22年宮城県生まれ。阿部みどり女の薫陶を受け、「海程」を経て、佐藤鬼房に師事する。平成14年、鬼房の死後「小熊座」を継承、主宰となる。人間風土の尊厳を重んじる。句集「蟲の王」ほか。



仁平 勝(件)

昭和24年東京生れ。「未定」「船団」「魚座」などを経て現在「件」。

句集に「花盗人」「東京物語」「黄金の街」。評論に「虚子の近代」「俳句が文学になるとき」(サントリー学芸賞)「俳句のモダン」(山本健吉文学賞)「俳句の射程」(加藤郁乎賞、俳人協会評論賞)



中原 道夫(銀化主宰)

昭和26年新潟県生まれ。能村登四郎に師事。「銀化」創刊・主宰。

句集に「蕩児」「顛頂」「アルデンテ」「銀化」「歴草」「不覚」など。俳人協会新人賞、俳人協会賞受賞。



正木 ゆう子(紫薇同人)

昭和27年熊本県生まれ。能村登四郎に師事。

句集に「水晶体」「悠」「静かな水」、著書に「現代秀句」などがある。俳人協会評論賞、芸術選奨文部科学大臣賞受賞。



星野 高士(玉藻副主宰)

昭和27年神奈川県生まれ。祖母・星野立子に師事。

句集に「破魔矢」「谷戸」「無尽蔵」

著書に「星野立子」「俳句創作百科 美・色香」、共著に「星野立子俳句三六五日」



小澤 實(澤主宰)

昭和31年長野県生まれ。藤田湘子主宰の「鷹」の編集長を15年間務めた後、「澤」創刊・主宰。句集「砧」「立像」「瞬間」。編著に「万太郎の一句」、句文集に「礼のかたち」がある。俳人協会新人賞受賞。



夏井 いつき (いつき組組長)

昭和32年愛媛県生まれ。黒田杏子に師事。句集に「伊月集」「伊月集 梟」著書に「絶滅寸前季語集」「100年俳句計画」「夏井いつきの俳句の授業」など第8回俳壇賞受賞。



岸本尚毅(天為、屋根)

昭和36年生れ岡山生れ。赤尾兜子に師事、のち波多野爽波に師事。田中裕明主宰の「ゆう」創刊に参加。著書に「高浜虚子俳句の力」(俳人協会評論賞)、「ホトトギス雑詠選集鑑賞」「生き方としての俳句」。句集に「舜」「健啖」など。



津川絵理子(南風)

昭和43年兵庫生れ。「南風」で鷺谷七菜子、山上樹実雄に師事。現在、「南風」副代表。平成19年、俳人協会新人賞、角川俳句賞受賞。句集に「和音」「はじまりの樹」



田中亜美(海程)

昭和45年東京生まれ。金子兜太に師事。「海程」同人。著書「新撰21」近現代ドイツ詩研究者。明治大学、青山学院大学非常勤講師。現代俳句新人賞受賞。



阪西敦子(ホトトギス、円虹)

昭和52年神奈川県生まれ。「ホトトギス」「円虹」同人。日本伝統俳句協会賞受賞。



高柳 克弘(鷹編集長)

昭和55年静岡県生まれ。藤田湘子に師事。湘子の没後、主宰を継承した小川軽舟の「鷹」の編集長を務める。現在早稲田大学大学院で、俳句を研究。

句集「未踏」 評論集「凜然たる青春」。

俳句研究賞、俳人協会評論新人賞を受賞。

